

平成28年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名：

「NEAL 自然体験活動指導者（リーダー）養成研修（前期）」兼「MYOKO ボランティア養成研修」

期間： 5月28日（土）～5月29日（日） （1泊2日）

対象及び参加人数： 自然体験活動や青少年教育に興味関心のある者 59名（内4名は日帰り）

目的：

自然体験活動の指導者を養成し、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動を推進する「NEAL 自然体験活動指導者（リーダー）」（以下「NEALリーダー」と呼ぶ）と、全国28施設の国立青少年教育施設でボランティア活動が行える「法人ボランティア養成カリキュラム」の科目履修互換制度試行事業として、「NEALリーダー」及び「法人ボランティア」の普及を図る講習を実施する。

また、講義・演習を通して、自然体験活動指導者及び国立妙高青少年自然の家でのボランティアの資質向上を図るとともに、実践の場を通して、専門性を高める。

事業概要：

自然体験活動指導者（NEALリーダー）と青少年教育振興機構の法人ボランティアの養成カリキュラム互換事業として実施し、NEALリーダー及び法人ボランティアの養成・普及を図る。

成果：

機構の共通カリキュラムをもとに事業を推進する中で、ボランティアに対する理論や知識を習得するとともに、アイスブレイクを行い、59名の参加者のコミュニケーションが十分にとれるように進めた。また、平成28年4月に発刊された「青少年教育施設ボランティア養成テキスト」を引用し、ボランティア活動に関する基本的な内容を学習する機会を作った。上記テキストの内容に加えて「妙高体験学習法」を根幹に据え、参加者が意欲的に講義・演習を実施できるようにプログラムを構成した。

ボランティア養成研修という事業の特質から、先輩であるボランティアスタッフが参加者の身近な手本となるよう、グループのリーダーに配置したり、前に出て活動したりすることで、参加者もボランティアスタッフも相互にかかわり合いながら活動を進めた。参加者にとって、先輩であるボランティアスタッフの姿は、ボランティア活動に一步踏み出すためのモデルとなると期待できるが、加えて、ボランティアスタッフ自身にとってもスキルアップを図る機会となるように工夫した。自然体験指導者養成に関しては、ステップアップ研修に向けた意欲を高められるようガイダンスで説明を行った。新潟青陵大、信州大、上越教育大と3つの大学が相互に関われる状況を活かし、多様性のある効果的なグループワークを展開することができた。



課題：

登録した法人ボランティアが当施設で積極的に活動が出来るように様々な活動機会を創出する必要がある。特に、実際の教育事業等の参画に向けて自然体験活動スキルや対象者理解の研修を多く実施し、質の高いボランティアの養成を心がけていく必要がある。